区長 山口照美の

てるてるだより

NO.33

新年、明けましておめでとうございます！いよいよ万博開催の年、そして港区制 100 周年の 2025 年を迎えました。港区の未来をイメージしたこどもたちのイラストがまちを飾り、万博に向けたたくさんの共創チャレンジも生まれています。過去・現在・未来をつなぎ、長年住む方と新しい住民をつなぎ、「関係人口」と言われる港区で働く・遊ぶ・関わる人が増えて港区全体が 1 つになる年になればと願っています。

そして昨年は元旦の能登半島地震から始まり、南海トラフ臨時情報や各地での豪雨災害もあり「防災」の必要性を痛感した 1 年でもありました。3 階以上に自力で上がるのが難しい高齢の方も障がいのある人も、小さな子どもがいる家庭も日本語が話せない外国の人も、一人も取り残さないための「公的機関や民間企業が連携して備える（公助）」「各家庭で備える（自助）」「お互いに気にかける（共助）」を引き続き、み（ん）なと強化していきたいと思います。

今年が区民のみなさんにとって、「港区に住んでよかった」と思える安心で思い出深い 1 年になることを願っています。

昨年開催された「みなとシティロゲイニング 2024」に家族で参加し、港区を楽しく巡りました。3 月には防災をテーマにしたロゲイニングがあります。ぜひご参加を！